算数科　小学校　3年

単元名　「三角形」
啓林館「わくわく算数３下」

単元の流れ（全７時間）

【第１時】（本時）
主な学習内容
　ストローを使って、様々な三角形をつくり、辺の長さに着目して分類する。二等辺三角形、正三角形の定義を知り、弁別する。

「活用」の力育成のために【第１～５時】
（ポイント①③④）

【第２時】
主な学習内容
　二等辺三角形、正三角形の作図を通して概念を深め、二等辺三角形、正三角形の相互の関係を理解する。

【第３時】
主な学習内容
　操作を通して、二等辺三角形の角の大きさを調べる。角の大きさについて、二等辺三角形の性質を理解する。

【第４時】
主な学習内容
　操作を通して、正三角形の角の大きさを調べる。角の大きさについて、正三角形の性質を理解する。

【第５時】
主な学習内容
　分度器を使った二等辺三角形のかき方を知り、かく。

【第６時】
主な学習内容
　敷き詰めによる模様づくりを通して、二等辺三角形、正三角形の性質について理解を深める。

「活用」の力育成のために【第６時】
（ポイント②③④）

【第７時】
主な学習内容
　評価テストをする。

HOME　本時の流れへ　評価問題

単元目標
○　二等辺三角形や正三角形について理解して作図する。また、二等辺三角形や正三角形の角の大小・相当関係を確かる。

単元構成の意図

　第３学年では三角形、四角形などの基本的な図形を扱い、直角三角形についても扱っている。本単元では、まず長さによって色分けしたストローを使って三角形を作る活動を通して、様々な三角形を意識付ける。次に、三角形を辺の長さに着目して分類し、色紙で二等辺三角形と正三角形をつくる活動を通して、２辺や３辺が等しいことを実感させる。コンパスを使った二等辺三角形、正三角形の弁別や作図を通して、その性質の理解を確かなものにする。その後、操作や測定を通して二等辺三角形や正三角形の角の大きさについて調べ、分度器を用いて二等辺三角形を作図する。このような算数的活動を通して図形についての理解を深めるとともに、見方や感覚を豊かにする。

「活用」の力を育てるポイント

①二等辺三角形や正三角形を作ったり、考察したり、角を測ったりする活動を通して、図形の性質を考えさせ、その理由を説明させることで、思考力や表現力を高めさせる。
②図形を敷き詰める活動により、学んだことを確認したり、図形の様々な性質を発見させる活動を通して、図形に対する見方や感覚を豊かにしたりする。
③表現する力を育てるために、自分の考え方や解決方法などについて、ペア学習やグループ協議を設定する。
④分度器やコンパスを活用する力を育てるため、個に応じた指導をする。